

年末調整に必要な書類は 月 日（ ）
ままでに提出してください。

ご記入ください(全員)

- ☐ 平成 24 年分扶養控除等申告書（平成 23 年 12 月 31 日現在）
※奥様、お子様等がパート、アルバイトなどしている場合は
今年1年分の収入予定金額を必ずご記入ください
- ☐ 配偶者特別控除・保険料控除申告書
※住所氏名を記入し、該当する下記の書類を添付してください。

ご用意ください(該当する方)

- ☐ 生命保険料控除証明書
- ☐ 地震(損害)保険料控除証明書
- ☐ 国民年金支払証明書(別に領収書のある方は添付してください)
- ☐ 国民健康保険料納付資料
- ☐ 小規模企業共済掛金控除証明書
- ☐ 前職分の源泉徴収票(中途入社の方のみ)
- ☐ 住宅借入金等特別控除関係資料
 - ① 借入残高証明書(金融機関に手配願います)
 - ② 住宅借入金等特別控除申告書(税務署から送付)

お問い合わせは...

平成24年分 給与所得者の扶養控除等申告書の書き方

平成24年分 給与所得者の扶養控除等申告書の記載例

給与の支払者の所在地等の所轄税務署長とあなたの住所地等の市区町村長を記載します。

所轄税務署長等 麹町 税務署長 板橋 市区町村長	給与の支払者の名称(氏名) 株式会社〇〇〇〇	(フリガナ) あなたの氏名 サトウ カズオ 佐藤和夫	世帯主の氏名 佐藤和夫
	給与の支払者の所在地(住所) 東京都千代田区霞が関3-1-1	生年月日 35年 3月 20日	あなたの続柄 本人
		あなたの住所又は居所 東京都板橋区大山東町35-1	

2か所以上から給与の支払を受けている人が、他の給与の支払者に「従たる給与についての扶養控除等申告書」を提出している場合に○を付けます。

扶

従たる給与についての扶養控除等申告書の提出に際しては、○印を付けてください。

平成24年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

この申告書は、あなたの給与について配偶者控除や扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。この申告書は、控除対象配偶者や扶養親族に該当する人がいない人も提出する必要があります。この申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。

あなたに控除対象配偶者や扶養親族がなく、かつ、あなた自身が障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生である場合は、この申告書の各欄に記入する必要はありません。

区分等	氏名	あなたの続柄	生年月日	老人控除対象配偶者又は老人扶養親族(昭和18.1.1以前生)	特定扶養親族(平成24年1月1日現在)	住所	平成24年中の所得の見積額	異動月日及び事由(平成24年中に異動があった場合に記載してください。)
A 控除対象配偶者	佐藤洋子	妻	昭和38.11.7			東京都板橋区大山東町35-1	70,000円	
B 控除対象扶養親族(16歳以上(平成9.1.1以前生))	1 " 守	子	昭和32.4.4	同居老親等・その他			0	
	2 " 茂	子	昭和38.3.30	同居老親等・その他			0	
	3 " 隆雄	父	昭和29.5.8	同居老親等・その他			0	
	4 " 〇			同居老親等・その他			0	
C 障害者	区分	該当者	本人	控除対象配偶者	扶養親族			
D 他の所得者が控除を受ける扶養親族等	氏名	年齢16歳未満(平成9年1月2日以後生)の扶養親族も対象となります。						

控除対象扶養親族は、年齢16歳以上(平成9年1月1日以前生)の扶養親族を記載します。

控除対象扶養親族が、年齢19歳以上23歳未満(平成2年1月2日～平成6年1月1日生)の場合に○を付けます。

控除対象扶養親族が、年齢70歳以上(昭和18年1月1日以前生)の場合には次のとおりいずれかに○を付けます。
①その人があなた又はあなたの配偶者の直系尊属で同居を常況としている人であるとき → 「同居老親等」
②その人が①以外の人であるとき → 「その他」

所得の見積額が38万円を超える人は、控除対象配偶者又は控除対象扶養親族に該当しません。

所得が給与等のみの場合には収入金額が103万円以下、公的年金等のみの場合には収入金額が158万円以下(年齢65歳未満の人は収入金額108万円以下)であるとき、所得は38万円以下になります。

- ◎ この申告書及び裏面の「申告についてのご注意」等は、平成23年9月1日現在の所得税法等関係法令の規定に基づいて作成してあります。
- ◎ 「主たる給与」とは、この申告書を提出した給与の支払者から受ける給与をいい、「従たる給与」とは、それ以外の給与の支払者から受ける給与をいいます。
- ◎ 控除対象配偶者が老人控除対象配偶者に該当する場合には「老人控除対象配偶者又は老人扶養親族」欄に○印を付けてください。
- ◎ 控除対象扶養親族が老人扶養親族に該当する場合には、その老人扶養親族が同居老親等に該当するときは同欄の「同居老親等」の文字を、同居老親等以外の老人扶養親族であるときは「その他」の文字を○で囲んでください。また、控除対象扶養親族が特定扶養親族に該当する場合には、「特定扶養親族」欄に○印を付けてください。
- ◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の「申告についてのご注意」等をお読みください。

◎住民税に関する事項

(住民税に関する事項) 16歳未満の扶養親族(平成9.1.2以後生)	氏名	あなたの続柄	生年月日	住所又は居所	平成24年中の所得の見積額	異動月日及び事由(平成24年中に異動があった場合に記載してください。)
	1 佐藤 勝	子	平成10.10.15	東京都板橋区大山東町35-1	0円	
	2					
	3					

- ◎ 「16歳未満の扶養親族」欄は、地方税法第45条の3の第2第1項及び第2第2項に基づき、給与の支払者を經由して市区町村長に提出しなければならないとされている給与所得者の扶養親族申告書の記載欄を兼ねています。

年齢16歳未満(平成9年1月2日以後生)の扶養親族を記載します。

は、一つの損害保険契約等ごとに、
とする場合には「旧長期」の文字の
してあります。